

令和8年3月18日

調査統計課
直 通：092-643-3187
内 線：2778
担 当：原、斉藤

令和7年度学校保健統計調査結果確報（福岡県分）の公表

令和7年度学校保健統計（学校保健統計調査の結果）について、本県分の集計結果を取りまとめましたので、公表します。

1 調査の目的

学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

2 調査内容

- （1）調査対象：国立、公立、私立の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校の満5歳から17歳（令和7年4月1日現在）までの幼児、児童及び生徒の一部（抽出調査）。
- （2）調査事項：学校保健安全法により実施される健康診断の結果に基づき、児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病・異常の有無）を調査。
- （3）調査期日：令和7年4月1日から令和7年6月30日の間に実施。

3 調査結果のポイント

【発育状態】

（1）全国平均値との比較

身長は、男女ともに概ね全国平均値と同じか下回っている。

体重も、男女ともに概ね全国平均値と同じか下回っている。

（2）親世代(平成7年度の数値)との比較

男女の身長・体重ともに概ね親世代と同様となっている。

（3）肥満傾向児の出現率について

男子は11歳、女子は17歳で最も高くなっており、全国の出現率とほぼ同様の傾向。

【健康状態】

・幼稚園においては「むし歯(う歯)」が最も高く、次いで「歯列・咬合」の順となっている。

・小学校、中学校及び高等学校においては「裸眼視力 1.0 未満の者」が最も高く、次いで「むし歯(う歯)」の順となっている。

集計結果の詳細

(注)幼稚園の「裸眼視力 1.0 未満の者」については、標本サイズが小さいため統計数値を公表しない。



福岡県オープンデータサイト



文部科学省 HP

令和7年度 学校保健統計調査結果 確報について

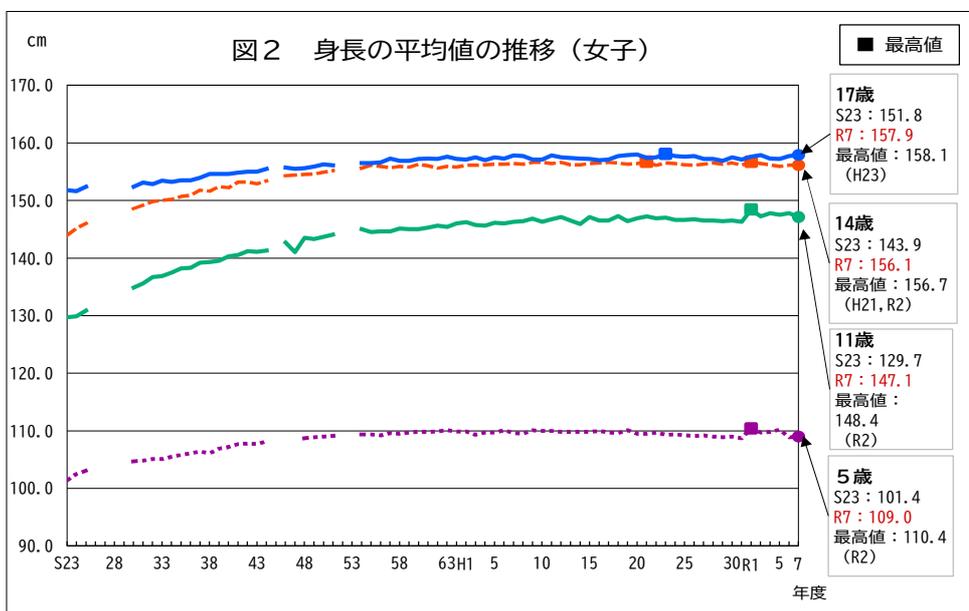
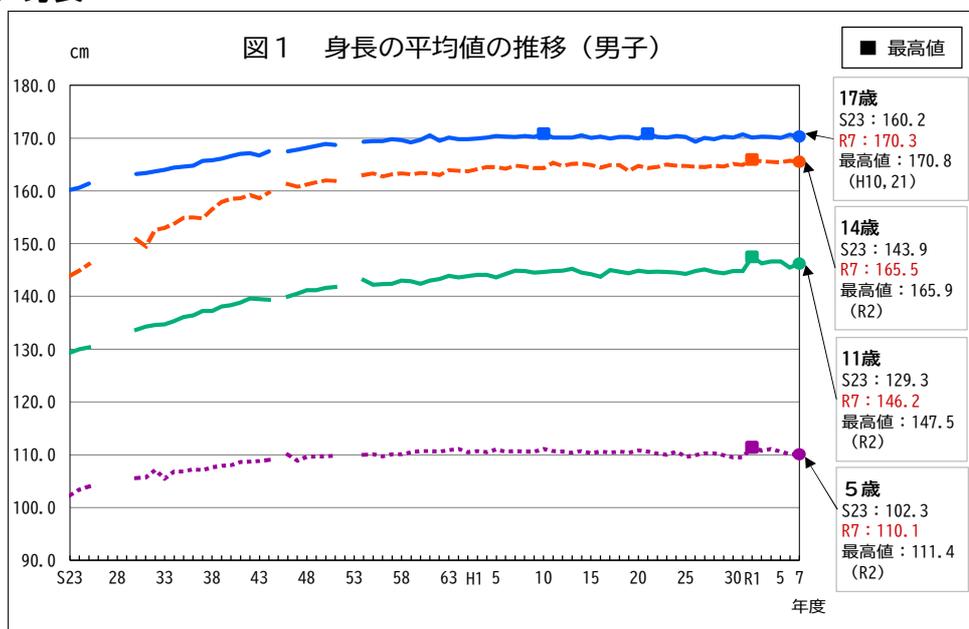
1 発育状態

表1 男女・年齢別 身長状況 (単位:cm)

区分	年齢	男子					女子					男女比較 A-D
		令和7年度	令和6年度	差 A-B	令和7年度		令和7年度	令和6年度	差 D-E	令和7年度		
		A	B		全国	差 A-C	D	E		全国	差 D-F	
幼稚園	5歳	110.1	110.1	0.0	110.4	-0.3	109.0	108.9	0.1	109.5	-0.5	1.1
小学校	6歳	116.3	116.4	-0.1	116.6	-0.3	115.3	115.5	-0.2	115.6	-0.3	1.0
	7歳	122.8	122.4	0.4	122.7	0.1	121.4	121.4	0.0	121.6	-0.2	1.4
	8歳	128.0	128.5	-0.5	128.3	-0.3	127.9	127.4	0.5	127.5	0.4	0.1
	9歳	133.6	134.0	-0.4	134.0	-0.4	133.3	133.9	-0.6	133.8	-0.5	0.3
	10歳	138.8	139.2	-0.4	139.5	-0.7	141.1	141.3	-0.2	140.9	0.2	-2.3
	11歳	146.2	145.5	0.7	146.1	0.1	147.1	147.8	-0.7	147.4	-0.3	-0.9
中学校	12歳	153.6	154.2	-0.6	153.8	-0.2	151.9	152.1	-0.2	152.4	-0.5	1.7
	13歳	160.7	160.3	0.4	161.1	-0.4	154.7	154.9	-0.2	155.0	-0.3	6.0
	14歳	165.5	165.7	-0.2	166.1	-0.6	156.1	156.1	0.0	156.4	-0.3	9.4
高等学校	15歳	168.2	168.4	-0.2	168.6	-0.4	156.6	157.0	-0.4	157.0	-0.4	11.6
	16歳	169.5	169.9	-0.4	169.9	-0.4	157.1	157.3	-0.2	157.5	-0.4	12.4
	17歳	170.3	170.6	-0.3	170.6	-0.3	157.9	157.7	0.2	157.9	0.0	12.4

(注) 年齢は、各年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。

(1) 身長

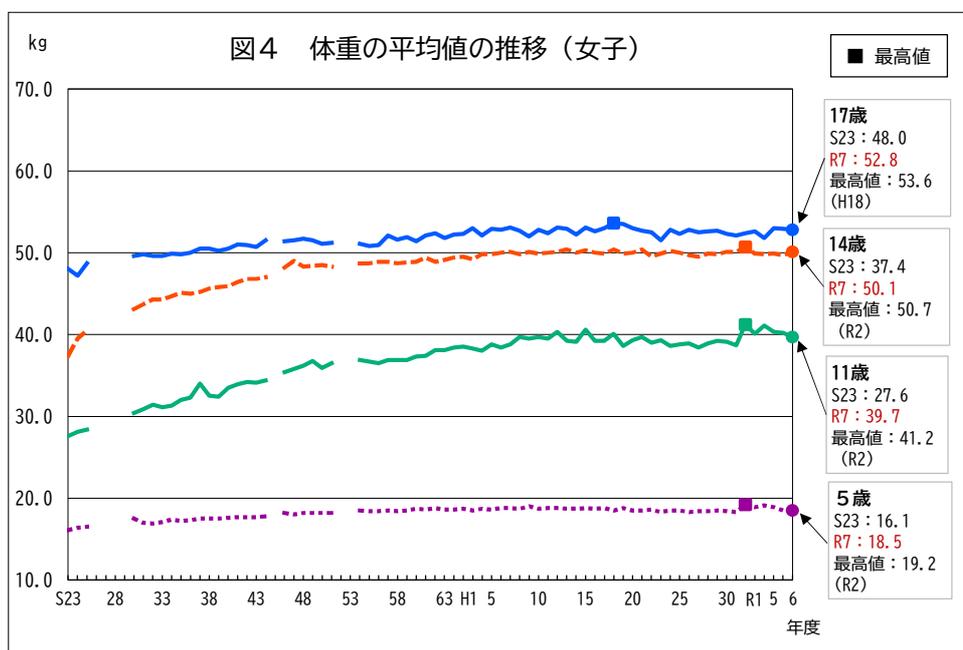
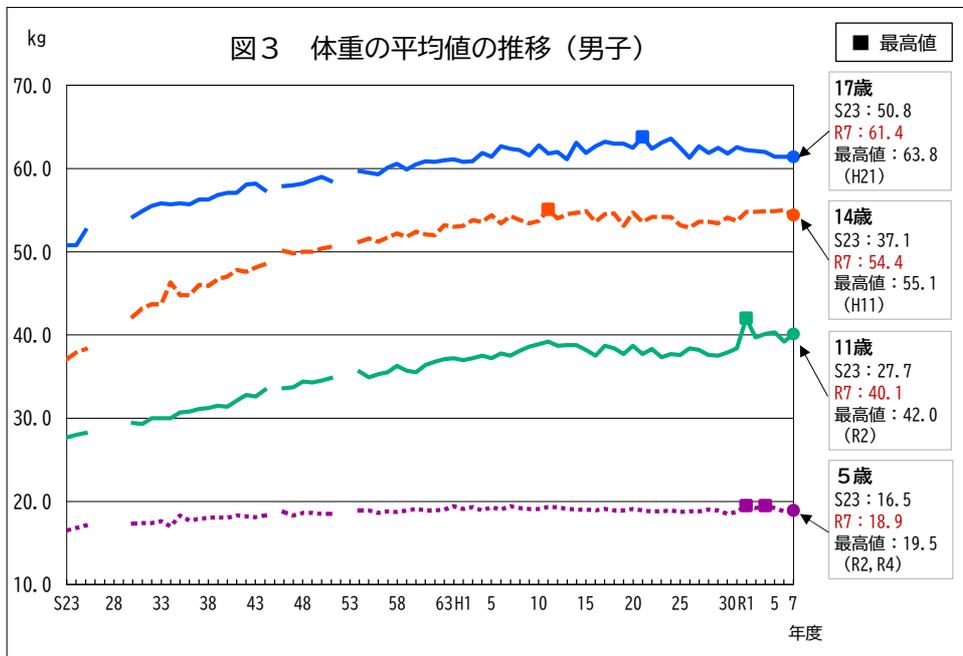


(2) 体重

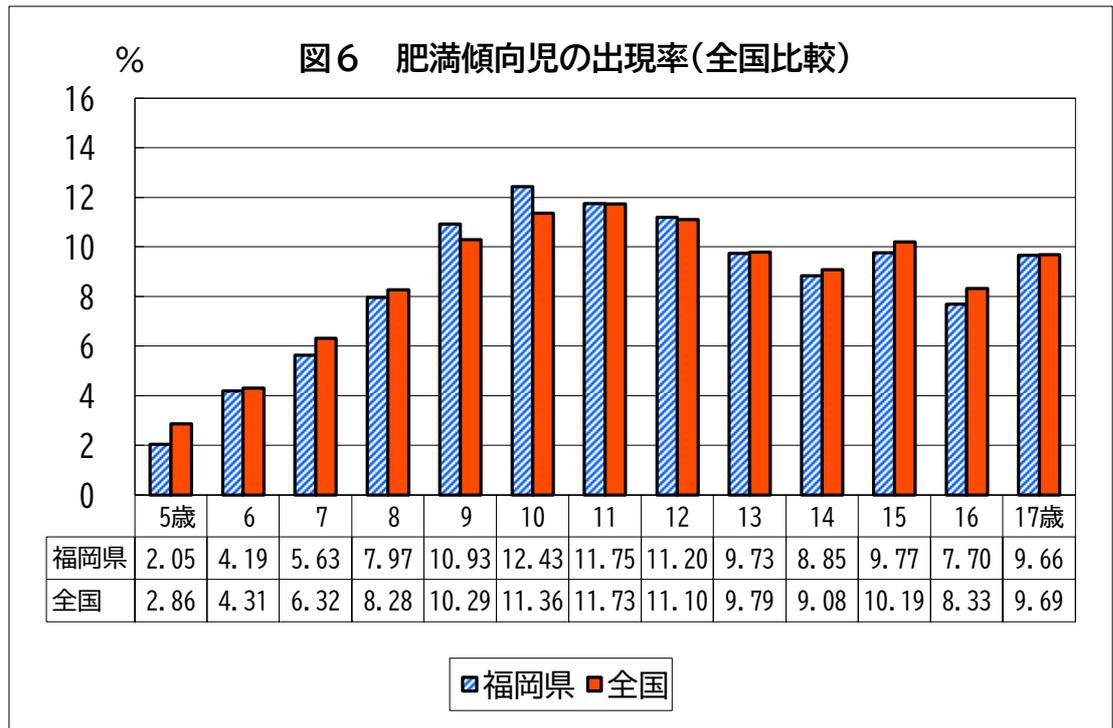
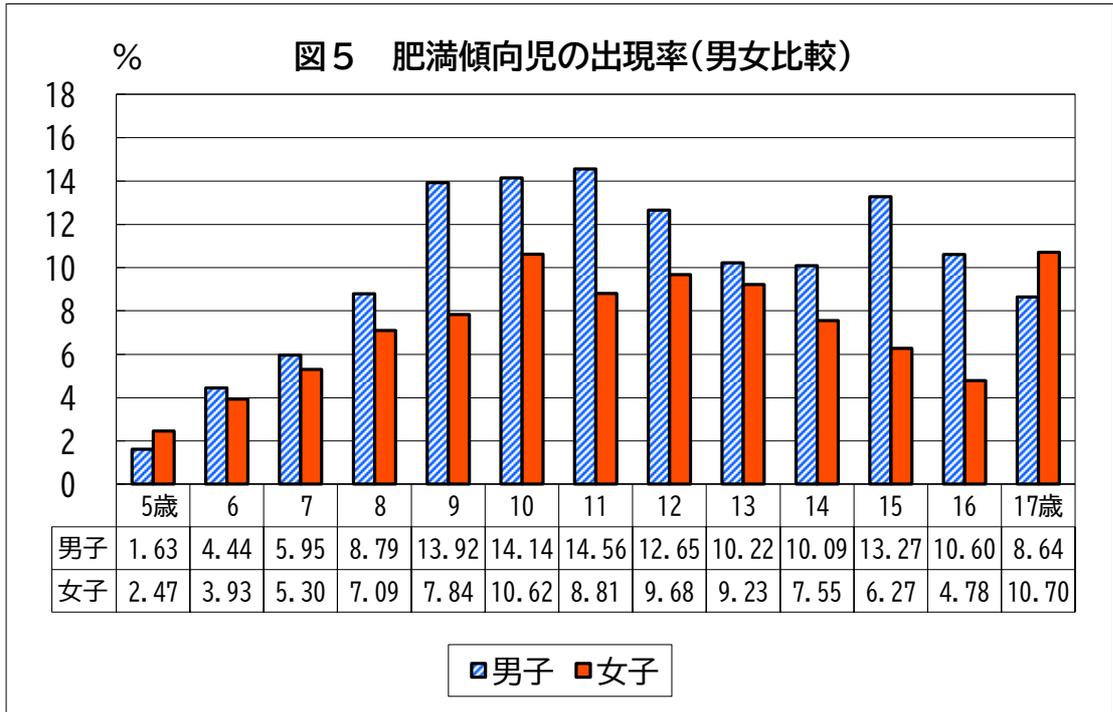
表2 男女・年齢別 体重の状況

(単位:kg)

区分	年齢	男子					女子					男女比較 A-D
		令和7年度 A	令和6年度 B	差 A-B	令和7年度 全国 C		令和7年度 D	令和6年度 E	差 D-E	令和7年度 全国 F		
						差 A-C					差 D-F	
幼稚園	5歳	18.9	18.8	0.1	19.0	-0.1	18.5	18.5	0.0	18.7	-0.2	0.4
小学校	6歳	21.2	21.4	-0.2	21.4	-0.2	20.7	20.9	-0.2	21.0	-0.3	0.5
	7歳	24.3	24.1	0.2	24.2	0.1	23.5	23.4	0.1	23.6	-0.1	0.8
	8歳	27.3	27.4	-0.1	27.4	-0.1	26.8	26.8	0.0	26.8	0.0	0.5
	9歳	31.3	31.3	0.0	31.2	0.1	29.8	30.6	-0.8	30.4	-0.6	1.5
	10歳	34.7	34.6	0.1	35.1	-0.4	35.3	35.8	-0.5	34.9	0.4	-0.6
	11歳	40.1	39.2	0.9	39.6	0.5	39.7	40.2	-0.5	39.8	-0.1	0.4
中学校	12歳	45.0	45.9	-0.9	45.2	-0.2	44.0	44.7	-0.7	44.4	-0.4	1.0
	13歳	50.1	49.9	0.2	50.4	-0.3	47.2	48.1	-0.9	47.5	-0.3	2.9
	14歳	54.4	55.0	-0.6	55.0	-0.6	50.1	49.7	0.4	49.7	0.4	4.3
高等学校	15歳	58.8	59.1	-0.3	59.1	-0.3	50.5	51.3	-0.8	51.0	-0.5	8.3
	16歳	59.8	59.6	0.2	60.3	-0.5	50.9	51.6	-0.7	51.9	-1.0	8.9
	17歳	61.4	61.4	0.0	62.2	-0.8	52.8	52.9	-0.1	52.5	0.3	8.6



(3) 肥満傾向児の出現率



2 健康状態

表3 疾病・異常の被患率等（令和7年度／学校種別）

区分 (%)	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
70以上～				裸眼視力1.0未満の者	
60以上～70未満			裸眼視力1.0未満の者		
50～60					
40～50		裸眼視力1.0未満の者		むし歯（う歯）	
30～40		むし歯（う歯）	むし歯（う歯）		
20～30	むし歯（う歯）				
10～20		鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患		
1～10	8～10				
	6～8		耳疾患 歯列・咬合 その他の疾病・異常（歯・口腔）	歯列・咬合 耳疾患	
	4～6	歯列・咬合	眼の疾病・異常 歯垢の状態	歯垢の状態 歯肉の状態 眼の疾病・異常 心電図異常	鼻・副鼻腔疾患 歯肉の状態 心電図異常 その他の疾病・異常 歯垢の状態
	2～4	その他の疾病・異常（歯・口腔）	その他の疾病・異常 歯肉の状態 心電図異常 ぜん息 栄養状態	その他の疾病・異常（歯・口腔） 蛋白検出の者 その他の疾病・異常 せき柱の状態 アトピー性皮膚炎 ぜん息	眼の疾病・異常 蛋白検出の者 耳疾患
	1～2	歯垢の状態 鼻・副鼻腔疾患 ぜん息 眼の疾病・異常 その他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎	アトピー性皮膚炎 蛋白検出の者 せき柱の状態	心臓の疾病・異常	その他の疾病・異常（歯・口腔） アトピー性皮膚炎 顎関節 ぜん息 せき柱の状態
0.1～1	0.5～1	歯肉の状態 その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常	口腔咽喉頭疾患・異常 心臓の疾病・異常 難聴	栄養状態 口腔咽喉頭疾患・異常	栄養状態 四肢の状態 心臓の疾病・異常
	0.1～0.5	言語障害 胸郭の状態 せき柱の状態	顎関節 その他の皮膚疾患 腎臓疾患 言語障害 四肢の状態 胸郭の状態 尿糖検出の者	顎関節 腎臓疾患 難聴 四肢の状態 その他の皮膚疾患 尿糖検出の者 言語障害	難聴 尿糖検出の者 その他の皮膚疾患 腎臓疾患 口腔咽喉頭疾患・異常 胸郭の状態 言語障害
0.1未満	顎関節 腎臓疾患	結核	胸郭の状態		

- (注) 1. 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、扁桃肥大、咽頭炎、喉頭炎、扁桃炎、音声言語異常のある者等である。
2. 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、唾石、癒合歯、要注意乳歯等のある者等である。
3. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
4. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
5. 「蛋白検出の者」とは、尿検査のうち、蛋白第1次検査の結果、尿中に蛋白が検出（陽性（+以上）又は擬陽性（±）と判定）された者である。
6. 「尿糖検出の者」とは、尿検査のうち、糖第1次検査の結果、尿中に糖が検出（陽性（+以上）と判定）された者である。